

(科目コード : 2001220005CC)

【改訂】第18版(2016-03-01)

【科目】社会政策

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修

【学期・単位数】後期・1単位

【対象学科・専攻】環境都市 5年

【担当教員】生形 健司

【授業目標】

私達の生活する経済基盤が、社会政策という国や地方の公共政策により確保されていることを理解することができる。

労働政策や社会保障等の基礎知識を学び、社会に対する考察力を養うことができる。

政策の決定過程について学び、問題解決能力や政策提案能力を修得し、社会の一員となる素養を身につけることができる。

経済学の基礎を学び、経済の現況を把握する考察力を養うことができる。

【教育方針・授業概要】

・本科目の総授業時間数22.5時間である。

・社会政策とは何か。また、社会政策は福祉国家の成立、そして、それ以降どのような展開をし、今日、どのような政策課題に直面しているか概説する。

・経済学の基礎や経済・財政政策を概観し、今日置かれている日本の現状と将来を展望する。

・政策の形成と立案の様々な仕組み、過程、方法について具体的事例を交えて講義する。また、グループで討論し、政策形成の演習を行う。

・社会政策の主要な領域である労働経済、社会保障の仕組みを把握するとともに今後のあり方について考察する。

・随時、今起きている社会的、政治的、経済的問題を取り上げ、考察する。

【教科書・教材・参考書等】

参考書：『新版社会政策』：石畑良太郎・牧野富夫編著：ミネルヴァ書房

参考書：『現代社会政策論』：小松隆二著：論創社

教科書は特に指定しない。

レジュメを配布する。

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

講義とグループ討議

【成績評価方法】

[後期]中間試験：40%、期末試験：40%、講義中の討論：5%、レポート：15%

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	社会政策に関する概念、政策の適用を理解でき、解釈能力を身につける。	100 %	通常の評価方法をする。

【本校の学習・教育目標】

(A-1) 人文社会系の科目の学習を通じて、人間文化と社会生活について理解する。

【授業計画】(社会政策)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1回	イントロダクション	「社会政策」の授業概要と学習の仕方・意義等		
2~3回	社会政策の理論と展開	生活問題と社会政策、世界最初の社会政策、世界最初の社会保障制度、福祉国家の展開、社会政策の今日的課題		
4~5回	経済の課題と座標軸	経済学の基礎、経済・財政政策の概観及び社会経済情勢の変化、座標軸の考察		
6~7回	政策過程	政策課題の設定、政策立案、政策実施、及び政策評価等の政策過程論、政策形成システムとグループ演習		
8回	中間試験			
9~11回	労働経済政策	労働市場(雇用・失業)、労働者保護(賃金、労働時間)、労働組合(労使関係)		
12~15回	社会保障政策	所得保障制度(社会保険・公的扶助)、医療制度(医療保険、介護保険)、社会福祉制度		